

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
408	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>	
<p>The severity of ultrasonographic findings in nonalcoholic fatty liver disease reflects the metabolic syndrome and visceral fat accumulation</p> <p>非アルコール性脂肪肝における超音波エコー所見の重症度はメタボリックシンドロームと内臓脂肪型肥満を反映する。</p>	
<b>執筆者</b>	
Hamaguchi M, Kojima T, Itoh Y, Harano Y, Fujii K, Nakajima T, Kato T, Takeda N, Okuda J, Ida K, Kawahito Y, Yoshikawa T, Okanoue T	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Am J Gastroenterol. 2007 Dec;102(12):2716-7.	
<b>キーワード</b>	
非アルコール性脂肪肝、メタボリックシンドローム、内臓脂肪、脂肪肝、腹部超音波、スコアリングシステム	
<b>要旨</b>	
<p><b>背景：</b> 非アルコール性脂肪肝 (NAFLD) はメタボリックシンドロームに非常に密接に関連している。</p> <p><b>目的：</b> 我々は超音波検査所見による新しいスコアリングシステムを用いて、メタボリックシンドローム及び内臓脂肪型肥満と脂肪肝の重症度との関連を健康な日本人成人において評価した。</p> <p><b>方法：</b> 肝生検を受けた 94 人のグループと一般集団から選ばれた 4826 人を調査対象とした。2 人の肝臓専門医が超音波検査の結果を 0 から 6 に点数化した。観察者の信頼性と観察者間の信頼性を Cohen's kappa を用いて算出した。我々は受診者動作特性曲線 (ROC) の曲線下面積 (area under curve:AUC) によって本スコアの的中率を予測した。</p> <p><b>結果：</b> 観察者内 (within) の Cohen's kappa は 0.95 (95%信頼区間 0.93-0.97、<math>p &lt; 0.001</math>) で観察者間では 0.95 (95%信頼区間 0.93-0.97、<math>p &lt; 0.001</math>) であった。曲線下面積 (AUC) は非アルコール性脂肪肝を 0.980 と判断した。感度は 91.7%で(95% 信頼区間 87.0-95.1, <math>P &lt; 0.001</math>) で特異度は 100% (95% 信頼区間 95.4-100.0, <math>P &lt; 0.001</math>) であった。曲線下面積 (AUC) は内臓脂肪を 0.821 と判断した。感度は 68.3%で(95% 信頼区間 51.9-81.9, <math>P = 0.028</math>) で特異度は 95.1% (95%信頼区間 86.3-99.0, <math>P &lt; 0.001</math>) であった。 メタボリックシンドロームに対するスコアのオッズ比は 1.37 であった。</p> <p><b>まとめ：</b> 腹部超音波のスコアリングシステムは健康で飲酒習慣のない人への脂肪肝、内臓脂肪、メタボリックシンドロームの予防に対して有益であると言える。</p>	